

伊丹市議会
議会報告会

実施報告書

平成28年5月15日開催

目 次

1	開催概要	1
2	市議会の役割と仕事	2
3	一般会計予算審議報告	4
4	特別会計並びに企業会計予算審議報告	1 1
5	参加者からの質問と回答	1 3
6	アンケート集計結果	1 6

1 開催概要

(1) 開催日時、会場及び参加者数

開催日 平成28年5月15日(日)

会場	いたみホール6階中ホール	きららホール3階多目的ホール
開催時間	午前10時～11時30分	午後2時～午後3時30分
参加者数	33人	30人

※いたみホールでは要約筆記、手話通訳、両ホールで託児を実施

(2) 出席議員

いたみホール 6階中ホール	服部好廣、高塚伴子、林 実、山藪有理、保田憲司、篠原光宏、川井田清香、佐藤良憲、櫻井周、相崎佐和子、泊照彦、杉 一、加柴優美、加藤光博、山内寛、吉井健二
きららホール 3階多目的ホール	小寺秀和、里見孝枝、大津留求、山藪有理、西村政明、竹村和人、篠原光宏、佐藤良憲、山本恭子、北原速男、相崎佐和子、川上八郎、戸田龍起、久村真知子、上原秀樹、新内竜一郎

(3) 役割分担

部 門	いたみホール	きららホール
班 長	山内 寛	新内竜一郎
司 会	林 実	川上八郎
報 告 者	議会について	篠原光宏
	予算委員会	(一般) 加藤光博 (特会) 吉井健二
記 録 作 成	加柴優美	里見孝枝、大津留求
写 真 ・ 受 付	(写) 保田憲司	(写) 小寺秀和
	(受) 川井田清香、櫻井 周	(受) 山本恭子
誘 導 ・ 会 場 係	(誘) 泊照彦	(誘) 戸田龍起
	(会) 服部好廣、杉 一	(会) 上原秀樹、久村真知子
運 営 全 般	山藪有理	山藪有理
託 児 ・ 要 約 筆 記	(託) 高塚伴子	(託) 高塚伴子
	(要約) 山本恭子	

(4) 報告会次第

開 会	・開会・司会あいさつー報告会の進行説明と議員紹介 ・議長あいさつ
議会からの報告	・市議会の役割と仕事 ・平成28年度予算委員会報告
質疑・意見交換	・参加者からの質問への回答他
閉 会	・副議長あいさつ

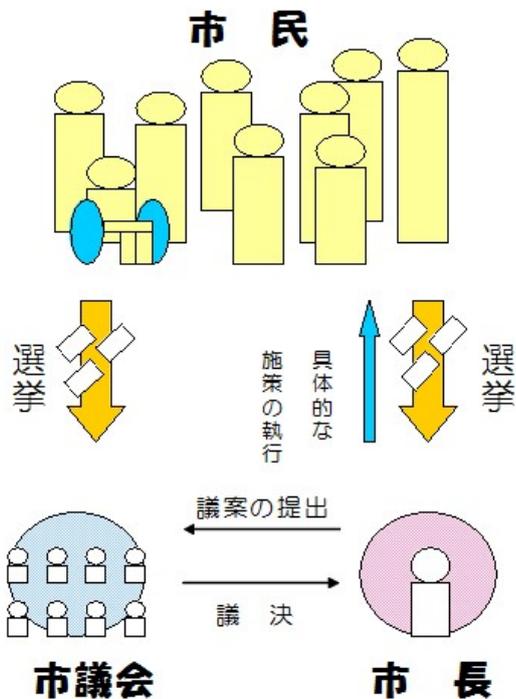
2 市議会の役割と仕事

伊丹市議会の歴史は、昭和15年に第一回市議会が招集され、本年で76年となります。現在、地方のことは地方が自分たちで決めていく、いわゆる地方分権が進む中で議会の役割はますます重要になってきております。しかしながら、地方議会や地方議員への理解はなかなか進んでいないのが実態です。我々伊丹市議会はこうした状況を変えていくために、ここ数年間議会改革に積極的に取り組み、少しでも市民の方にわかりやすい、身近に感じて頂けるようにと、様々な協議を重ねてまいりました。

昨年には議会基本条例を制定し、議会の使命や仕組み、役割といったことについて、市民にわかりやすいものが出来上がったと思っております。その基本条例の中に「議会は、多様な手段を活用することにより、多くの市民が議会と市政に関心を持つよう広報活動に努めるものとする」また「議会は市民の声を議会運営に反映するため、市民への広聴活動に努めるものとする」と規定されており、この条例に従いこのたびこのような形で議会報告会を開催することと致しました。

～市議会の役割と仕事～

市民生活の向上のために…



※議員も議案を提出できます。

市議会は、市民を代表する議員によって構成されており、伊丹市の市政をどのように行えばよいか、その意思を決定するところです。

市長は、この決定にしたがって具体的に仕事を進めることとなります。このような働きから、市議会は議決機関、市長は執行機関と呼ばれています。

市議会と市長は相互に独立した立場に立ち、それぞれが考えを出し合いながら、市民生活の向上に努めています。

市の仕事（市政）を進めていく上での重要なことは、市議会が決定します。つまり、市議会が伊丹市の意思を決めているのです。この意思を決定する行為を「議決」といいます。

その主な項目は、次のとおりです。

- ・ 条例を制定、改正、廃止すること。
- ・ 予算を決めること。
- ・ 決算を認めること。
- ・ 市税、使用料、手数料などに関すること。
- ・ 1億5000万円以上の工事などの契約を締結することや2000万円以上の財産の売買に関すること。
- ・ 副市長、教育長、教育委員会委員、監査委員などの選任・任命に関すること。
- ・ その他、法律や政令・条例により市議会の権限とされていること。

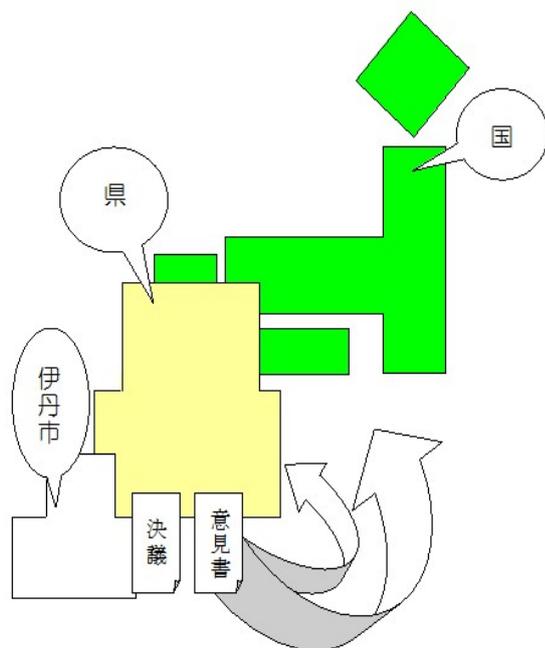
このほか、議長や副議長の選挙など市議会内部のことを決定することもあります。

市政のチェック

市の仕事の状況を聞いたり、問題点を指摘することで市政が正しく運営されているかどうかをみることも市議会の大切な仕事です。

本会議で質問や質疑を行い、また委員会で報告を受けたり質疑などを行うことにより、市政をチェックしています。

意見書・決議の提出



市民生活に重要なことでも、それが国や県の仕事であつたりして、市だけでは、解決できないことがあります。このようなときには、関係機関に「意見書」や「決議」を提出して、積極的な解決を求めています。

市議会の存在意義は住民福祉の向上にあります。選挙で選ばれた市議会議員は皆様の声を市政に活かしていくために近くにおります。いつでもお声かけ頂ければと思います。

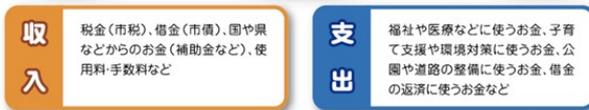
3 一般会計予算審議報告

① 予算とは ~3つの会計~

予算にはお金の使い道などによって、大きく次の3つの会計があります。



そして、会計にはそれぞれ、「収入」と「支出」があります。



なる会計が、『一般会計』です。

会計にはそれぞれ、収入と支出があります。『収入』には、税金(市税)のほか、国や県などからの補助金などがあります。なお、借金(市債)も収入に含まれます。

一方、『支出』には、福祉や医療、子育て支援、公園や道路の整備などに使うお金のほか、借金の返済に使うお金(公債費)などもあります。

予算とは、1年間の収入と支出の見積りの中で、市が行う行政サービスの計画を、お金の面で表したもので、お金の使い道などによって、一般会計、特別会計、公営企業会計の大きく3つの会計に分かれています。

そのうち、福祉の推進や教育の振興、公共施設の整備など、特に市民の皆さまに身近な市政運営の要と

② 予算から決算までの流れ



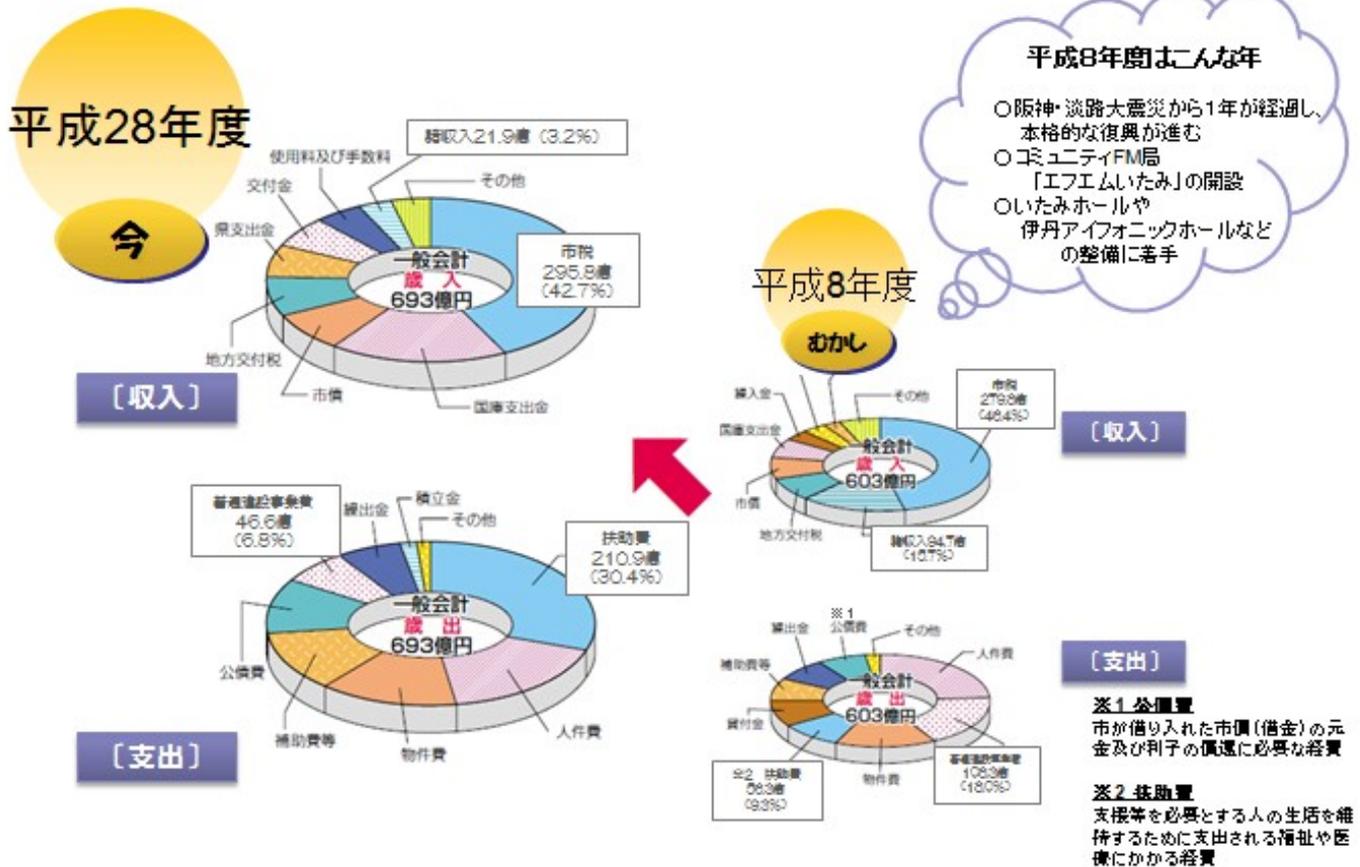
予算は、市長が案をつくり、市議会の審議と議決を経て成立します。そのため、議会と行政の関係は、よく『車の両輪』などと例えられ、その関係は密接に関連しつつ、一定の緊張感を保っています。

まず、各担当部局が社会情勢や市民の皆さまの要望などから、1年間に必要な行政サービスを検討し、収支の見積もりを作成します。市長は、

それを自身の施政方針に沿って予算案にまとめ、3月に開かれる議会に提案します。そして、市民の皆さまから選ばれました、我々議員が、市長から提案された予算案を十分に審議した上で、議会の議決によって予算が成立します。

また、「予算がどう使われたのか」を検証することも非常に大切です。それが決算審査です。決算につきましても、市長が9月に開かれる議会に提出し、我々、議員が十分に審議した上で認定するかどうかを決めます。

③ 伊丹市の財政 「今」と「むかし」



伊丹市の一般会計の予算の姿ですが、ここでは、特徴がわかり易いように、最新の平成28年度予算と20年前の平成8年度予算を対比してみました。

収入の中で一番大きな割合を占めているのは、いずれの年度でも市税収入となっています。ただ、その額は、平成8年度が約280億円、平成28年度が約296億円と、大きくは増えておらず、また、今後も生産年齢人口(15歳~64歳)の減少などもあり、市税収入が大きく伸びることは期待できません。

また、『今』と『むかし』の収入を比べますと、『雑収入』の額が大きく減少していますが、この要因のひとつが、ボートレース事業収益の減少です。

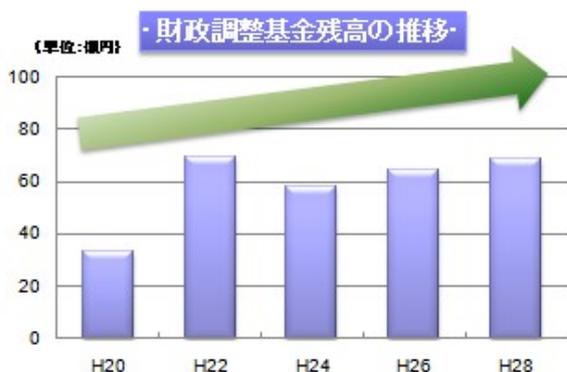
一方、支出の方は、平成8年度では、施設や道路の整備などの経費である普通建設事業費が、支出順位の2番目、額も約108億円と大きな割合を占めています。これは、阪神・淡路大震災から1年が経過し、震災の復興経費が本格化したことに加え、文化施設等の整備等も重なったことが考えられます。これが、平成28年度になると、支出順位は6番目、額も約47億円まで減少します。

その代わりに、大きく額が伸びてきているのが扶助費です。扶助費とは、主に、生活保護に係る経費や障害者施策、高齢者施策、子育て支援施策などに支出される経費の一部であり、平成8年度では第4位の約56億円でしたが、平成28年度では第1位の約211億円、支出割合でも全体の30%を超え、最近では毎年度、その支出額や支出に占める割合が過去最高を更新している状態です。ここから、伊丹市の施策が公共施設の整備などのハード事業から、子育て支援などのソフト事業に転換してきたことがわかります。

④ 伊丹市の貯金と借金

貯金

伊丹市の貯金である財政調整基金の残高は確実に増加



借金

伊丹市における将来世代の負担となる借金(普通債)は確実に減少



重要な財政指標の1つとして、貯金(基金)と借金(市債)の推移については、議会としても常にチェックしています。

4

貯金と借金の状況について、平成20年度からの推移をみると、まず、家計で言う『貯金』にあたる『財政調整基金』の残高は、概ね右肩上がりに増加しています。

一方、家計で言う住宅ローンなどの『借金』にあたる普通債は、順調に返済が進んでいます。

この『貯金』と『借金』については、議会でも常に大きな関心を寄せて注視しています。特に、『借金』については、過大になると、将来世代に負担を先送りすることになるので、今後ともチェック機能を十分に果たしていきます。

一方、『少子高齢化』や『公共施設等の老朽化』、『収収の伸び悩み』等、将来にかかる心配事が山積しており、議会としては、それらの心配事の解消に向け、行政とともに、伊丹市の明るい未来のために、引き続き、その健全化に取り組みます。

主要事業（地下ハイテク駐輪場の整備）

⑤ 伊丹市の主要事業 その1

＜ 地下ハイテク駐輪場の整備イメージ ＞



一般会計予算等審査特別委員会で議論が交わされた様々な事業のうち、特に、市民の皆さんに密接にかかわりのある「4つの施策」について、ご報告させていただきます。

機械式地下立体自転車駐車場、いわゆる「ハイテク駐輪場」と呼ばれている駐輪施設

の整備についてです。伊丹市では、阪急伊丹駅やJR伊丹駅の周辺で、放置自転車で溢れかえるといった「放置自転車問題」が過去からの課題でした。

市では、歩行者の快適な通行空間を確保することを目的として、昨年11月、276台分の路上駐輪ラックを設置するとともに、駐輪指導や啓発、自転車駐車場の料金改定を行うなど阪急伊丹駅周辺を中心に総合的な駐輪対策を進めてきました。その結果、放置自転車は大幅に減少し、快適な歩行空間を確保することができるようになりました。

そして平成28年度は、JR伊丹駅周辺での駐輪対策を進めようとしています。かねてより、市がJR伊丹駅周辺で新たな駐輪施設の設置を検討していたところ、JR伊丹駅前の酒蔵通りに面した本泉寺より土地の無償貸与の申し出があったことなどから、簡単な操作で自動的に駐輪スペースへ収納することができる機械式の地下駐輪施設を、平成29年度までの2カ年で整備しようとするものです。総事業費は約2億6千6百万円で、うち、平成28年度は約1億1千6百万円の予算計上となっています。

これらの提案を受け、特別委員会におきましては、「ランニングコストについては使用料で賄うべき」や「利用するのにICタグが必要であったり、自転車のサイズに制限があると聞か、一時置きで放置自転車対策として有効なのか」などの質疑がなされました。

それに対して、「ランニングコストについては、収入で賄うことは難しいが、料金設定や人員配置の工夫により費用を抑えていきます。」

また、「一時置きで問題となるICタグの設置は1回10分程度の車検を通すとずっと使えるもので、一時利用であっても利用いただけるものと考えています。」「自転車サイズの規格については、後ろの高いチャイルドシートのついたものや3人乗りの自転車でも対応できると聞いています」との答弁がなされました。このハイテクを活用した最新式の駐輪施設は、伊丹市の自転車対策になることを期待しています。

主要事業（中学校給食センターの整備）

⑥ 伊丹市の主要事業 その2

< 中学校給食センターの整備イメージ >



給食荷受室イメージ



1階見学用通路イメージ



2階見学用通路イメージ



中学校給食センター完成予想図

中学校における完全給食の実施です。

子育て世代の市民の皆さんが待ちに待つ「中学校給食」の実施に向けて、給食センターの建設工事がスタートしようとしています。新しい給食センターでは、食物アレルギーに対応するための専用調理室の設置や、生徒や保護者の皆さんが見学できるスペース（通路）を設けるな

ど、安全で安心できる給食に取り組み、食育を推進しようとしています。更には、災害時には、被災者の皆さんへの救援として炊き出しができる設備も備えることとなっています。

今後、給食センターの整備に併せ、市内の全ての中学校に給食の荷受場等を整備し、平成29年6月から、市内のすべての中学校で一齐に完全給食をスタートすることとなっており、文部科学省の（学校施設環境改善）交付金を活用するなど、市民の負担軽減も図りながら着実に事業が進んでいます。

これらの提案を受け、特別委員会では、「米飯給食の2時間喫食に対する見通し」などの質疑がなされました。

それに対して、「2時間喫食というのは、努力目標です。業者に設備等の改善を申し入れるなど、現在調整を行っており、できるだけ近づけるように調整を行っています。」また、「中学校給食では、委託先を分散させることによって、なるべく早い時間で配送が可能となるよう進めています」との答弁がなされました。

主要事業（安全・安心見守りネットワーク）

⑦ 伊丹市の主要事業 その3



安全・安心見守りネットワークについてです。

伊丹創生総合戦略の大きな柱、「安全・安心」の取り組みが、さらに加速します。

安全・安心見守りカメラについて、先行して整備を進めてきたモデル地区、伊丹・桜台・天神川の3小学校区の整備が完了し、残りの14小学校区についても、地域

の皆さまの意見をお聞きしながら、順次、整備を進め、平成28年度中の完了を目指すこととなっています。

更に、子どもたちや、認知症高齢者の徘徊などを見守るため、安全・安心見守りカメラに合わせ、位置情報を通知するビーコンを整備することで、日本初となる安全・安心のための社会インフラが市内に完備されます。

また、民間事業者との協働により、小型のビーコン発信器を身に着けた子どもたちや高齢者の居場所を、家族などにお知らせするサービス「まちなかミマモルメ」もスタートします。

これらのネットワークを利用する徘徊高齢者や障がいのある方については、初期登録料や今年度の月額利用料を無料とするなど、負担の軽減も図られることとなっています。

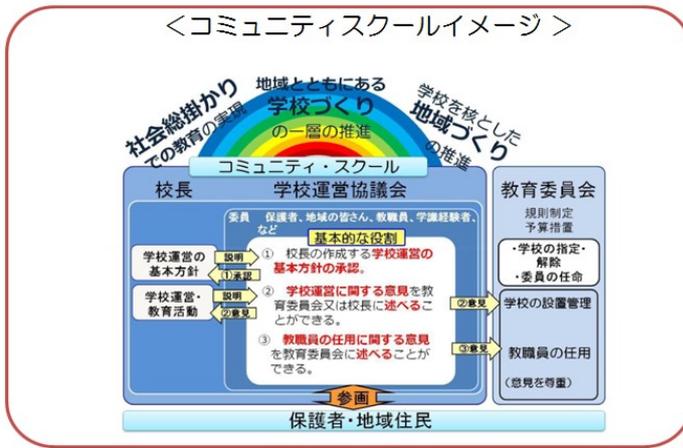
これらの提案を受け、特別委員会におきましては、「まちなかミマモルメの申込み方法、受付時期、利用料金」、「アプリやボランティアの概要」などの質疑がなされました。

それに対して、「小学生、中学生は学校を通じて、高齢者、障害者は福祉の窓口にて申込みをすることになります。受付の開始は予算可決後となり、料金は、初期登録費用2572円、月額使用料432円です。ただし、障害者と認知症高齢者については、初期登録費用を全額負担し、28年度に限り月額使用料も無料となります。」

また、「アプリは無料。ボランティアは、一般と登録の2種類あります。一般ボランティアは、広く誰にでもなってもらい、個人情報も一切受け取りません。捜査依頼がきてアプリを起動させると、行方不明者とすれ違った時にスマホが自動で、保護者の方に場所と時間をお知らせします。登録ボランティアは、行方不明者の情報を受け取り、捜したり、見つけたときの確認や保護者への連絡もできます。ただし、個人情報を扱うため、市の職員などに限定した運用が考えられています」との答弁がなされました。

主要事業（コミュニティ・スクール）

⑧ 伊丹市の主要事業 その4



コミュニティ・スクール設置事業についてです。

学校行事や土曜学習、通学路の見守り活動など、これまでも学校運営を支えてきて下さったのは、まさに地域の皆さまです。そこで社会総がかりの教育を更に一歩前進させるため、「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域の皆さんが、一定の権限と責任のもと、学

校運営に参画し、児童生徒の健全育成に取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みを取り入れることとなります。

今年度は4校に設置し、最終的には、兵庫県でのトップランナーとして、平成32年度までに、すべての市立小中高等学校への導入を目指すこととなっています。

これらの提案を受け、特別委員会では、「コミュニティ・スクールのメリット」や「学校運営協議会が、教職員の任用に関する意見を述べることについて支障はないのか」などの質疑がなされました。

それに対して、「学校の情報が共有されて理解が進んでいくと苦情も減ってきて、本務に専念できることが先進事例として聞いています。」

また、「任用に関する意見は尊重するが、必ずしも左右されるものではありません。意見を通じて学校の抱える課題の解決や教育の充実のために必要な校内体制の整備充実が図られるという意義があります」との答弁がなされました。

なお、阪神淡路大震災や東日本大震災の経験を踏まえ、また、南海トラフ巨大地震などがいつ発生してもおかしくない状況の中、市民の安全・安心を確保すべく、防災関係の審議も行っています。

これまでの防災センター整備や屋外拡声器設置等々の危機管理体制に加え、28年度は、避難所井戸設置事業が行われます。これは、市内の全17小学校に、災害発生時にトイレなどで使用する生活用水を確保するための井戸を整備するもので、避難所の衛生管理や避難者の健康管理を目的としています。

4 特別会計並びに企業会計予算審議報告

特別会計

【予算総額】

約 **387** 億円

- 国民健康保険事業
- 後期高齢者医療事業
- 介護保険事業
- 中小企業勤労福祉共済事業
- 農業共済事業
- 鴻池財産区
- 荒牧財産区
- 新田中野財産区

事業

8 会計

特別会計とは

特定の事業を行なう場合、特定の歳入を持って特定の歳出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において、条例でこれを設置することができる。(地方自治法第209条第2項)

平成28年度の特別会計の予算総額は約387億円となっています。

特別会計は国民健康保険事業特別会計を初めとする8つの会計があります。

企業会計

【予算総額】

約 **441** 億円

- 病院事業
- 水道事業
- 工業用水道事業
- 下水道事業
- 交通事業
- モーターボート競争事業

6 会計

(公営)企業会計とは

地方公共団体が経営する企業を公営企業と言い、地方財政法第6条により、公営企業の経理は特別会計を設けて行うこととなり、この特別会計を公営企業会計と言います。

平成28年度の(公営)企業会計の予算総額は約441億円となっています。

(公営)企業会計は病院事業会計を初めとする6つの会計があります。

介護保険事業特別会計

【当初予算額】 12,102,147千円

【予算審議のポイント】

- ▶ 法改正により1割→2割負担になった被保険者数
- ▶ 補足給付の受給対象者数
- ▶ 計画における地域密着型サービスの進捗状況



【予算審議の結果】 原案可決



特別会計のうち介護保険事業特別会計の審議は、主に以下の項目について質疑が交わされました。

- ①法改正により1割から2割負担になった被保険者数
- ②補足給付の受給対象者数
- ③計画における地域密着型サービスの進捗状況

介護保険事業特別会計 審議内容 pick up!

計画における地域密着型サービスの進捗状況は

Q.

伊丹市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画のうち、地域密着型サービスの整備状況の進捗はどうか？

本計画の通り整備が進めば、特別養護老人ホームの待機者の解消ははかれるのか？

A

H27年度に整備してくれる事業者を公募している。募集数に応募が満たないところは追加の募集を準備中である。

施設内での完結ではなく地域の中で安心して過ごせる「地域包括ケア」をすすめたい。

地域密着型サービスの進捗状況の質疑では、施設整備事業者の公募状況について、①地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）では1カ所の募集に対して1カ所の応募、②認知症対応型共同生活介護（グループホーム）では1カ所の募集に対して3カ所の応募、③認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）では3カ所の募集に対して1カ所の応募であり、募集数に応募数が満たない部分については、追加の募集の準備を進めていること、また、今回の整備計画における特別養護老人ホームの待機者の解消は図れるかについて、今後は施設内での完結という事ではなく、地域の中で安心して過ごせるように地域包括ケアをすすめ、様々なサービスを展開することで待機者の解消を目指したいと、やりとりされました。

交通事業会計



【当初予算額】 2,749,778千円

【予算審議のポイント】

- ▶ 料金収入と他会計補助金との関係
- ▶ 昨年のダイヤ改正の影響 
- ▶ 市バスモニターの内容と活動状況
- ▶ 事故原因と事故減少に向けての取り組み

【予算審議の結果】 原案可決

企業会計のうち交通事業会計の審議は、主に以下の項目について質疑が交わされました。

- ①料金収入と他会計補助金との関係
- ②昨年のダイヤ改正の影響
- ③市バスモニターの内容と活動状況
- ④事故原因と事故減少に向けての取り組み

交通事業会計 審議内容 pick up!

昨年のダイヤ改正の影響は

Q.

昨年の9月に実施されたダイヤ改正。経営の効率化の面で客数の少ないところは減便となっているが乗降客数の変化は？

クリーンランド雇用の障がい者の方たちの終業時間と1時間程ずれたと聞いたが改善は？

A

現段階では詳細なデータは採っていない。乗車料収入は1月時点の前年比では1%増。乗降客数の変化は今後検証を行なう。

他の便との関係で今の時間になった。次のダイヤ改正では改善したい。

昨年のダイヤ改正の影響の質疑では、減便による乗降客数の減少について、現段階ではダイヤ改正後の乗降客数の詳細データは取っていないが、乗車料収入は平成28年1月時点での対前年比では1%増で、前半が好調、ダイヤ改正以降は鈍化している部分もあるが、一年を通してほぼ堅調に推移していること、また、ダイヤ改正の影響で、豊中市伊丹市クリーンランドで雇用の障がい者の方が、終業後1時間ほど待つことになったことについて、他の便との関係の中で今の時間になったとご理解いただき、次のダイヤ改正では改善できるようにしたい、とやりとりされました。

5 参加者からの質問と回答（いたみホール）

参加者からの質問・意見	議会の回答
議案に対して賛否の分かれたものについて、少数意見を議会だよりに掲載してほしい。	市議会だよりの発行の際に、どこまで踏み込んで表記するのか議論してきた。今のところは○×のみとしている。
提案された議案に対し、議会として修正議決したことはあるのか。	昨年は「喫煙防止条例」に対して修正議決した。
予算の見積もりの妥当性は？	予算案の策定の過程で、議会（各会派）と市長と政策懇談会を設け意見交換をしている。
市民一人当たりの財政状況を示す必要があるのでは？	伊丹市が作成したパンフレット「やさしい財政のおはなし」に詳しく記述されている。
多額の費用をかけて防犯カメラを設置する理由について。	平成26、27年度市長は市民との対話を続けてきた。その結果、カメラ設置要望が圧倒的に多かったことから、1小学校区50台を目安に3小学校区を先行して設置。費用については国の補助金を活用、市民の負担を軽くしている。
財政支出のうち扶助費が30%を占めており、その要因は高齢化だと考えるが対策について伺う。	人口減少社会に入り高齢化とともに子育てに費用がかかってくる。国は平成28年度から「地方創生」を打ち出し、地域のことは地域で考えて欲しいとしているが、国自身の方策が大事になってくると考えている。
学校の空き教室が増えている、コミュニティに活用できないか。	議会でも議論は始めている。コミュニティでの話し合いが必要になるのではないか。
モーターボート事業はギャンブルを奨励しているのではないか。	モーターボートの利益で平成25年度2億円、26年度5億円、27年度2億円を一般会計に繰り入れしており、一般会計に寄与している。
市民まちづくりプラザ移転に関して、①市民の意見を聞いていないのでは、②もっと利便の良い所はなかったのか。	①市やNPO法人として市民の声にいつそう耳を傾けたい、②スワンホールはより広いスペースが確保できると考えている。

5 参加者からの質問と回答（きららホール）

参加者からの質問・意見	議会の回答
伊丹市の目指す都市の姿は。	昨年、市は3つの柱がある「伊丹創生総合戦略」を作成した。①安全・安心の街 ②子育て・教育の充実している街 ③にぎわい・活力のある街
航空機騒音に対する防音工事の現状と今後について教えて欲しい。	個別案件は市役所へお問い合わせを。市や議会は、安全と環境に万全の配慮を尽くして欲しい、と国や空港・航空会社に要望を続けている。
市役所や公共施設の建て替えについての考えは。	市は、公共施設のあり方を総合的に考える公共施設マネジメント基本計画を策定した。これから具体的に議論するので、是非ご意見を寄せてほしい。
中学校給食が始まることを、小学校へしっかり説明して欲しい。	（教育委員会へ一層の周知をお願いするなど）しっかりと取り組んでいきたい。
コミュニティ・スクールを開始するに当たり、地域への周知活動を。	地域の方々に知っていただくことが必要不可欠。しっかりすすめていきたい。
自治会加入者が少なくなり、役員のなり手がなくて困っている。	伊丹市は自治会活動が盛んなところだが、昨今は加入者が減少し、役員のなり手不足になっていることは把握している。 課題を共有して、議会としてもこの問題に取り組んでいきたい。
安全・安心見守りネットワーク施策について質問。 高齢者・障がい者のみ今年度の初期費用・月額使用料が無料で、小学生は無料にならないのか。	ネットワークが全市に整備されるまでの間、費用を阪神電気鉄道と市が折半し、福祉的な視点で配慮が必要な方を無料にするというもの。障がいのある小学生には適用される。

<p>市バスのダイヤ改正で減便されて困っている。</p>	<p>そういう声をたくさんいただいている。不便を生じない範囲で、どこまで減らせられるのか、事業者は考えて欲しいという趣旨の審議が議会で交わされている。</p> <p>一方、事業は料金収入を得ないと存続は無い。そのバランスが難しい。住民や、障がいのある方の声をしっかり聞いたうえで、次回のダイヤ改正時に申し入れていきたい。</p>
<p>受益者負担の観点から高齢者からも市バス料金をもらうべきでは。</p>	<p>様々な意見がある。交通基本法にある高齢者の「移動の権利」をどこまで保障するか、をしっかりと考えていきたい。</p>
<p>鴻池小学校北東の市バス停留所が完成しているのに営業していない。</p>	<p>鴻池でバス路線を延長する、と議会にも報告があったが、まだ申請が終わっていない、と聞いている。</p>
<p>市高の教育を高めるべきではないか。中高一貫も考えられないか。</p>	<p>高いレベルへ向けて取組み中。その成り行きを見守りたい。</p>